

平成 28 年度日本体育協会公認アスレティックトレーナー
専門科目免除適応コース検定試験 実施要項

この実施要項は、公益財団法人日本体育協会（以下、「本会」という）公認スポーツ指導者制度に基づく公認アスレティックトレーナーに必要とされる知識や能力を判定するための免除適応コースにおける専門科目検定試験について定めるものである。

1. 検定試験

(1) 理論試験

(2) 実技試験

※ 検定試験実施に関する詳細については別紙「公認アスレティックトレーナー専門科目検定試験実施内容」に定める。

2. 受験資格

(1) 理論試験

本会講習・試験免除適応コース承認校において、共通科目Ⅰ・Ⅱ・Ⅲ及びアスレティックトレーナー専門科目等を履修し、公認アスレティックトレーナーとなるのに必要な技術及び知識を習得し卒業した者（平成 28 年 3 月末までに履修し卒業見込みの者を含む。）で、共通科目Ⅰ・Ⅱ・Ⅲ修了証明書及びアスレティックトレーナー専門科目講習修了証明書を取得した者（取得見込みの者を含む。）とし、さらに日本赤十字社の赤十字救急法救急員の有効期限内の認定証を持つ者（赤十字救急法基礎講習修了者認定証ではないので注意すること）。

(2) 実技試験

理論試験に合格し「公認アスレティックトレーナー理論試験（または客観式試験）合格証」を交付され、受験申し込み時に本会が指定する現場実習（180 時間）を修了している者（新規受験者及び有効期限切れ等による再受験者）。

3. 検定日

(1) 理論試験：平成 28 年 11 月 12 日（土）

(2) 実技試験

①前期試験（過年度・新規）：平成 28 年 9 月～10 月

②後期試験（新規）：平成 29 年 2 月～3 月

4. 受験の手続

(1) 理論試験を受験する者は、理論試験受験願書を所属の学校を通じて本会に提出しなければならない。なお、受験願書には写真（縦 4cm×横 3cm：出願前 6 か月以内に脱帽して正面から撮影したもの。なお同じ写真を理論試験受験票に貼ること。）と日本赤十字社の赤十字救急法救急員の有効期限内（試験当日迄）の認定証（写し）を貼り、

本会所定の卒業（修了）見込み証明書を添付すること。既卒者は本会所定の卒業証明書と共通科目Ⅰ・Ⅱ・Ⅲ修了証明書およびアスレティックトレーナー専門科目講習修了証明書（写し）も併せて添付すること。

(2) 実技試験を受験する者は、実技試験受験願書を所属の学校を通じて本会に提出しなければならない。なお、受験願書には写真（縦4cm×横3cm：出願前6ヶ月以内に脱帽して正面から撮影したもの。なお同じ写真を実技試験受験票に貼ること。）を貼ること。新規受験者及び受験有効期限切れ等による再受験者は、「理論試験合格証」または「客観式試験合格証」の写しと現場実習を修了したことを証明する現場実習報告書（個人用）を添付すること。

(3) 検定料

①理論試験受験料：16,200円（税込）

②実技試験受験料：32,400円（税込）

5. 修了判定

検定試験の修了判定は、理論試験並びに実技試験の判定結果をもとに本会指導者育成専門委員会にて審査の上、可否を判定する。

(1) 理論試験合格者には「公認アスレティックトレーナー理論試験合格証（有効期限なし）」を発行する。

(2) 実技試験合格者には「公認アスレティックトレーナー専門科目検定試験合格証」を発行し、「公認アスレティックトレーナー検定試験修了通知」を送付する。

6. 受験有効期限

(1) 理論試験の有効期限は設定しない。

(2) 実技試験の有効期限は受験申込年度から4年間とし、受験機会は2回とする。

(3) 前項の2回目の試験に合格できない者で再度現場実習（180時間）を終えた者は、実技・論述試験の受験資格を得ることができる。但し、前回の受験有効期限内に受験することはできない。

7. 注意事項

(1) 本会は検定試験に関し不正の行為があった場合は、その不正行為に関係のある者について、その受験を停止させ、全ての試験を無効とする。

(2) 本会は前項による処分を受けた者について、期間を定めて受験資格を取り消すことができる。

(3) 検定試験は学校を卒業する年度以前に受験することはできないものとし、万が一上記受験資格を満たさない者が受験した場合、全ての試験結果は無効とする。

日本体育協会公認アスレティックトレーナー専門科目検定試験実施内容

【理論試験】

理論試験はアスレティックトレーナーとしての基礎知識の有無ならびに適性を評価することを目的に実施する。

1. 出題・解答形式

五肢からの選択式（マークシート式）

2. 出題内容

<基礎>

①スポーツ科学、②運動器の解剖と機能、③スポーツ外傷・障害の基礎知識、④健康管理とスポーツ医学、⑤スポーツと栄養、⑥アスレティックトレーナーとしての常識問題

<応用>

①アスレティックトレーナーの役割、②検査・測定と評価、③予防とコンディショニング、④アスレティックリハビリテーション、⑤救急処置、⑥アスレティックトレーナーとしての常識問題

3. 出題数：220問

・基礎 110問（必修問題 10問、一般問題 100問）

・応用 110問（必修問題 10問、一般問題 100問）

4. 試験時間：5時間（基礎：2時間30分、応用：2時間30分）

5. 評価方法

必修問題8割以上、一般問題概ね7割以上の正解をもって評価する。

【実技試験】

実技試験は、総合実技試験をもって総合的に評価し合否を決定する。

総合実技試験は、アスレティックトレーナーの業務に必要な知識、適正、マネジメント能力および技能を総合的に評価することを目的とし、「公認アスレティックトレーナーの役割」に関する内容について、必要な知識および技術を正しく実践できるか否かを評価する。

1. 試験方法

(1) 「公認アスレティックトレーナーの役割」に関する内容について、必要な知識及び技術を正しく実践できるか否かを評価するものとする。

(2) 検定員は本会公認スポーツドクター1名、本会公認アスレティックトレーナー2名の計3名で構成する。

2. 出題内容

テキスト記載の疾患ならびに競技種目の組合せを中心に出題する。

3. 出題項目

テキスト記載の疾患ならびに競技種目の組合せを中心に出題した内容6項目を3カテゴリーに集約して出題する。

- (1) スポーツ外傷・障害等に対する救急処置（評価を含む）
- (2) 検査・測定・評価方法
- (3) 対象部位のテーピング
- (4) アスレティックリハビリテーションの初期メニューの立案、説明、デモンストレーション
- (5) アスレティックリハビリテーションの後期（現場復帰）メニューの立案、説明、デモンストレーション
- (6) 現場での予防方法の立案、説明、デモンストレーション

4. 試験時間：約 30 分

5. 評価基準

「アスレティックトレーナーが持つべき知識、理論および基本的な実技を基盤として、現場で安全に業務を遂行しうる基本的な実技および指導を実践できるか否か」を評価する。総合実技試験全体に共通する評価のポイントは以下の 2 つとする。

- (1) 競技者とのコミュニケーションを前提としたアスレティックトレーナーに必要な技術を有しているか否か、受験者の技能を総合的に検定する。
- (2) アスレティックトレーナーが持つべき知識・理論を基盤として実施される基本的実技および指導が安全を確保できる許容範囲であるか否かを検定する。

6. 評価方法

検定員 3 名（公認スポーツドクター 1 名、公認アスレティックトレーナー 2 名）の採点結果をもとに評価する。

【総合判定】

総合実技試験の 3 名の検定員による個別の評価に基づき、最終的な合否判定は判定会議にて行う。